

新年度に向けて

創刊号H17年12月号のあと、これまで13年に亘り毎年4月号に新しい年度に向けてのNSNの在り方について私なりの考えを述べてきましたが、これが最後になります。

創刊の頃は「トリトンねりま」が入会した年で各会ともエネルギーに満ちており、翌年から合同バス旅行や健康マージャン教室及びお楽しみ麻雀大会、ボランティア会議、その2年後のH20年にはCCW(チャリティ・クリンウォーク)が相次いで発足しました。

これらの企画の狙いは、個別の会ではやれないものや、本来連合体としてやるべきものを「NSNの事業として」実施し、利用者の参加の機会と共に世話役の役割も作るという二重の狙いがありました。

しかしその後、世話役が特定の人に偏る弊害が出てきたため、「講演会やコンサート」、「住まいの研究会」など新設するもののある一方で、合同バス旅行・健康マージャン教室・お楽しみ麻雀大会・ボランティア会議・CCWなど相次いで事業の廃止が続きました。

最近NSN全体として特に内向けの関心が深くなったように思います。

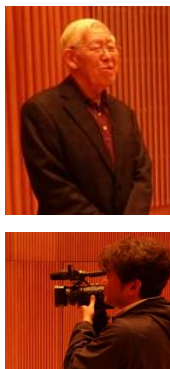
新しい会は別として多くの会が会員の減少や企画力・活動力の低下に悩んでいることがわかり、「長い自委員会」を新設して約1年に亘って検討もしました。

私を始め組織全体が高齢モードになっていて、毎年若い会が誕生するNSNの特徴をフルに活用できていません。仕組みを考へなおす必要があると思います。

NSN会長 山本雄一



ヴァイオリン 神野優子・宮林陽子
ピアノ 平田 侑



取材を受ける岡部委員長

スプリング・アフタヌーンコンサート

WHC主催(NSN共催)の第5回コンサートは、2月26日(火)に、大泉学園のゆめゆめホールで、「スプリング・アフタヌーンコンサート2019」として100名の参加を得て実施されました。

2本のヴァイオリンとピアノの演奏は、

・クラシックの名曲
合奏協奏曲「四季」より「冬」

ウィーンの森の物語・月光 等

・有名な映画音楽

白い恋人たち・シャレード・第三の男 等

・懐かしい童謡

ゆりかごのうた・どこかで春が 等

皆なじみのある曲で、アンコールにも応えてもらい充分堪能しました。

今回は初めてJCOMからコンサートと岡部委員長が取材を受けました。その様子は28日夕方のJCOMニュースで放映されました。

(WHCクラブ事務局)

サマーフェスティバルの出演者決定

今年8月3日(土)第17回サマーフェスティバルの第一部の出演者が決まりました。

一期会会員のオペラ歌手の金見美佳をはじめ、二期会期待(詳細はのりま)です。

【会員のひろば】

《71歳からの山歩き》

趣味、嗜みが無いのです。「昔は・・・」
という事はあるのですが、「今は」が
ありません。義父の残したミニ盆栽
を引き継いだのですが、ひと夏で枯
らしてしまいました。散歩をしてい
ても、ただ歩いているだけではつま
らないのです。目的や分かりやすい
結果が無いと続かない、サラリーマ
ンの成れの果てです。

2年前に、思いついて山歩きを始
めました。「70過ぎて、何を考えてい
るのか」と周りに呆れられながら、
持ち前の勉強熱心さで(笑)旅行社の
山歩き講習会の参加から始め、飯能
あたりの低山歩き、秋には紅葉の洵
沢まで。去年は郷里の白山に登って



きました。ただ70過ぎた初心者に付
き合ってくたさる方は少なく、一人

では何かの時に怖いので、機会が少
ないのが悩みです。どなたか秩父の
山などを一緒に頂けませんか。

NSNではセカンドライフ研究会
には熱心なのですが、所属の「みん
なの会」に参加率が悪く、不良会員
です。桂会長始め、皆さんのご厚意
に甘えています。左の写真は今年1
月、成田さんリーダーの日本橋七福
神めぐり、水天宮です。

みんなの会 西和彦



《賀寿の会》

八展会の年中行事の中に「ユニーク
で楽しい企画『賀寿の会』がある。
「傘寿」と言う人生の節目の歳を迎
えた会員を仲間ですつ会のことだ。

一人で祝われるのは気恥ずかしい
ので、誕生年に多少のずれがあつて
も1回に二人ずつ祝つ。会場は趣を
変えて、庭園も楽しめる椿山荘や、
時には区役所の展望レストランであ
る。主役二人は主賓席に座り、司会
進行のもとメンバーみんなから祝辞
のシャワーを浴びる。そしてハイラ
イトは一同からのバラの花束贈呈だ。
日頃花束などもらいなれない男は照
れるものの、最後に撮影する記念写
真には花束を手にして嬉しそうな笑
顔で収まっている。まんざらでもな
いのだ。

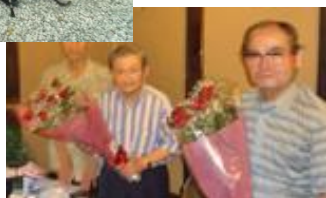
祝つ方も祝われる方もみなが幸せ
な気分になる『賀寿の会』。八展会が
発足して幾年かが経った今から丁度
10年前のこと、傘寿を迎えた仲間が

二人いた。この年にこの企画が生ま
れた。

日本男性の平均寿命は81歳を超
えた。傘寿はマラソンで言えば40キ
ロ辺り。まさに、良いゴールを目指
して互いにエールを掛け合う人生の
感動的瞬間だ。

今年で6回目、祝われた会員は12
名になる。残念なのは初回は20名い
た会員が半数になってしまったこと
だ。でも祝われる者はまだ2名いる。
晴れ晴らしい祝い会があるのは何と
も嬉しいことだ。

八展会 熊谷玄之



【各会の思い出の行事】

《 会設立当初の思い出 》

設立総会の後、会としての具体的な活動についての話し合いの場で、藤沢周平ファンの私は自分が考えて

いた予定の映画鑑賞に、食事を付けて実施することを提案し、図らずも「二三の会」の第1回活動が、平成23年7月4日に実現しました。

映画は、藤沢周平短編集「闇の穴」を原作とした「小川の辺（ほとり）」で、武家社会の忠義・規律・慣習と友情・家族愛との相克に苦しむ一人の武士を描いた内容に、重苦しい感情の一方で、何かしつとりとした余韻の様なものを感じながら、映画館を後にしました。

男子7名、女子3名で行われた場所を変えての食事は、共に映画を見たせいでしょうか、参加者同士の心の距離が一挙に近づき、極めて盛会で大変楽しいものでした。

提案は、やや硬い会議の雰囲気をはげす意味で半ば義務的に行ったつ

もりでしたが、実現してみれば多くの男性に囲まれた久しぶりの食事会となり、個人的にも大変楽しいものでした。

あの日から8年の歳月が流れ、その間に多くの活動を続けて結束を強くしつつ、33名でスタートした「二三の会」は、亡くなられた方も2名あり、現在は16名迄減少しました。

様々な知識・技能・個性を持った会員の集合である現在の「二三の会」が、私が提案したあの映画会からスタートしたと思うと、誇らしく、又、忘れられない思い出となっています。

「二三の会」 櫻井文子



イラストは

「藤沢周平映画の画像集」から引用

【セカンドライフ研究会】第4回報告



事務局 武藤哲
1月17日、第4回研究会

「在宅で生きる―医療と介護」をテーマに開催されました。参加者は、事務局を除いて45名、うち女性が23名と初めて男性より多くなり、関心の高さがうかがえました。

体験発表は、お母様を自宅で介護し看取られた方お二人と、レビー小体型認知症のご母堂を、奥様と二人で現在介護している方でした。介護生活での葛藤、親族を介護に巻き込む工夫、訪問診療医の変更など、体験した方であれば語れないような内容がたくさんありました。

次回は「在宅の限界―いつどこがいい？」をテーマに石神井公園区民交流センター集会所で4月18日に開催します。

どうぞご参加ください。



体験発表

グループトークでは、「できれば家で最期を迎えたいけれど、介護者の負担がやはり重そう」、「子どもには子どもの生活があり、面倒をかけられない」、「最期を家で迎えるのが難しいなら、どうするか考えておかな

グループトーク



オープン参加行事のご案内

《新春講演会の報告》

睦会では恒例の新春講演会を1月26日(土)サンライフ練馬で開催しました。「浮世絵の名作を楽しむ」
〜浮世絵通にならなため〜
3つのトピックス〜
というテーマで、加藤陽介先生(練馬区立美術館学芸員)より、美人画の大家・喜多川歌麿に焦点を当て、名作「深川の雪」の謎に迫る興味深い話を聴きました。(睦会 西島)



【定例行事】

☆ナンプレ(数独)同好会

初めての方には簡単なやり方の説明をさせて頂きます。

(日時) 毎月第1金曜日 13・30〜14・30

(場所) 練馬高野台駅前地域集会所

(会費) 100円 (資料代)

(問合せ) 四季会 桑原 ☎(39990) 43550

☆NSN歌声交流カフェのご案内

昔歌った愛唱歌・童謡・抒情歌をCDの曲をベースに、みんなで歌って楽しむ集まり
(日時) 偶数月第3木曜日 14・00〜16・00
(会場) 練馬高野台駅前地域集会所
(会費) 無料 登録不要 先着25名様
(問合せ) ねりまシニアクラブ
桑原 ☎(39990) 43550
山本 ☎(39995) 2217

☆ユーモアサークル

3分間スピーチで、ユーモア感覚を会得
(日時) 奇数月第4木曜日 14・00〜17・00
(場所) 練馬高野台駅前地域集会所
(会費) 300円 (当日参加者)
(申込) 新エルフ内藤 ☎(6760) 2815

☆ミニフリッジを楽しむ会(四水会)

コンパクトフリッジの前半(オークション)を省略・簡単にしたミニフリッジの会
(日時) 毎月第4水曜日 14・00〜16・30
(場所) 男女共同参画センター
エーエス階 研修室
(会費) 無料
(申込) ひとみ会 角地 ☎(3904) 8005



【NSN定例運営連絡会 開催メモ】

▼H30年11月24日(土) 14・00〜16・00
▼H30年12月22日(土) 13・30〜14・50
各委員会連絡確認事項

- ・シニアセミナー・講演会・会報
- ・サマーフェスティバル
- ・セカンドライフ研究会

承認事項
第25回ねりまシニアセミナーへの補填

【編集会議に参加して】

編集会議は3回目です。編集作業の苦労に感謝し、手際よく毎回欠かさず発行される努力は見習いたいです。編集者と読者の立場は、編集に手を省くと読者の感動も少なくなり、逆に、力を注ぐほど感動が大きいのものと思つ。記事内容と興味深さは重要である。その一つには原稿集めが不可欠である。

日頃から、一読者として幾つか感じていることは、全体に「型」はまり過ぎていて「例として」「会員のひろば」などの文字数をもっと自由に、「定例行事」は年に2回の記載とし、代わりに定例連絡会での特記事項などの議事録や、各同期会の活動報告や話題の掲載を希望します。

最後に時節柄、古臭い「縦書き」を辞め、PDF変換不要の編集と、読み易い「横書き」編集への大変革を希望します。

×ロフ・メイッすばる 猪俣

【編集後記】

好評のうちに恒例の「スプリング・アフタヌーンコンサート」が終わりました。

次のNSNのイベントは「ねりまシニアセミナー」です。今年もごん新しい同期会が生まれるか期待して待ちましょつ。

早々とサマーフェスティバルの第一部の出演者も決まり、また一段と楽しいものになりそうですね。(五)

